

ウイルかわら版

will

平成二三年
二月

第十八号

編集 吉澤 隆
と
ウイルさいたま
吉澤企画の皆さん

年初一月九日東静岡のグランシップで、吉澤の所属する経営塾の賀詞交歓会が開かれ、イエローハットの創業者であり、日本を美しくする会の相談役である鍵山秀三郎さんの講演をいただきました。（裏面）

突然ですが、エンディングノートって、聞いたことありますか？

私たちウイルでは、「家族葬」というこの頃増えてきた葬儀のスタイルについて、セミナー活動を通して皆さんと一緒に考える機会を持ってきました。そのセミナーのなかで、いわゆる「エンディングノート」と呼ばれる、終末期のことについて自分の希望を書きとめるための冊子をお配りしています。

家族葬セミナーに参加して下さる方のアンケートによると、その7割を超える方が「もしものときに家族に負担をかけないために」受講されているのだそうです。ですからその冊子には、必要となる手続きのことや、葬儀の内容への希望が書き込まれます。

それをこのたび刷新して、「ウイルノート」なるものを製作いたしました。では、なぜ新たにすることに決めたのか？それには理由

があります。

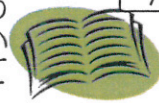
これまで、葬儀のことについて多くのご相談をいただけてきましたが、その中で一つのことには気が付きました。

葬儀の相談では、その方が何を第一の目的とするのか、という事を理解するのが重要です。ですから、その方が好きなこと、大切にしているもの、やりたいこと、やりたくないことを聞きとっていきます。そして不安を解消するような情報提供やご提案をしていきます。

でもそれが、ときとしてご相談者のためにならない事もあるのではないかと、と思うようになりました。

例えばこんなケースです。
Aさんはお子さんがおらず、ご主人が余命宣告を受けています。ご主人方のご家族と上手くいっていないと言うAさんは、親族も友人も呼ばずに一人だけでご主人を送りたいと言われるのです。

私たちはその要望にこたえようと何度かの面談を重ねたうえで、実際にお一人での葬儀をお手伝いさせていただきました。でも、そのあとで本当にそれで



良かったのだろうか？と疑問を持ちました。私たちはAさんの要望を叶えた気になっていましたが、その結果、葬儀を終えてからAさんを更に孤立させることになってしまったのでは、と、気づいたのです。

もしかしたら葬儀の前後の不安もあって、Aさんは普段通りの冷静な判断が難しくなっていたかもしれせん。

余計なお世話だと思えますが、気になって何度かおハガキを書かせていただきましたが、お返事をいただけずにいます。

そんな体験を通して、ただ単にやりたいこと、やりたくないことを書き連ねる冊子ではなく、自分の理想の最期を迎えるために、今から何をするのか、何に気をつけるのか？というような事にも目を向けるきっかけとなるようなものにした。また、自分を支えてくれた人たちの存在を振り返るためにも使っていたら良かったと思、このたびCLの理論を参考にしたエンディングノート「ウイルノート」が完成いたしました。

言いましたっけ？私たちの社名である「ウイル」には遺言・強い想いという意味があるのです。

自分を支えてきてくれた人たちに、なにを残すのか、どんな思いを伝えるのか？一緒に考えてみませんか？今月はちょっと宣伝させていただきますました！



will ウイルさいたま

☎ 0120-797-739

※ご紹介した事例は、プライバシー保護のため若干事実と異なつた内容になっていきます。

料金後納

ゆうメール

一月九日、静岡経営塾の賀詞交歓会が東静岡駅前前のグランシップで行われました。

毎年そこでは、塾生である私たち経営者がその年の経営計画を演台に立って発表させていただいています。年頭にはどんなに良い計画を立てても、それに一年間こだわり続けるのはなかなか難しいことです。ですから皆さんに証人になっていただき、自社の目標や課題を公言することで、また一年間自分との約束ごとにこだわっていかう、というそんな宣言の場でもあるのです。またの機会に、そんなお話についても触れさせていただきますと思います。

ば、し名
え引も有
言で
とらム
岡かダ
静台ガ
東おた
おたす
でね



今年の賀詞交歓会では、メインゲストとして鍵山秀三郎さんから講演をいただきました。

私たちウィルは、毎月鍵山先生が相談役を務める「日本を美しくする会」が開催するお掃除の会などに参加させていただいています。が、直接鍵山相談役のお話を伺うことは滅多にないので、メモを取りながら真剣に聞いてきました。

まず、講演のタイトルからインパクトがありますよ。
「大きな努力で小さな成果」
です。

・・・何か間違えちゃったのかな？と思う方もいますよね。

す
ト
くハ
美談一ハ
のロ者三
をの者郎
本エの者
日会イの
の創業秀
の鍵山



実際ある金融機関の講演で同様のお話をしたところ、何度説明をしても分かってもらえなかったのだそうです。

小さな元手で大きなレバレッジ（テコの原理）を、という考えの金融の業界の方が受け入れられたいという気持ちもわかるような気がします。

鍵山相談役はこう説明します。
「努力のないうえに得た成果は不安定です。」
「一方大きな努力の上に得た成果は安定しています。」



そして「誰にでもできることを誰もやらないくらいにやる」と良いのだと、さらっと言い切ってお

られました。

確かに、これといって人より秀でたものがない私たちの会社では、やはりそれしかないのかな、とは思いますが、「誰もやらないくらいにやる」というのは簡単なことじゃないですよ・・・。

更に、「今の人は、結果はどうなる？という保証がないとやらない、という人が多い」ようです。何かをやるときに結果の保証を求める人が多いのです。ですからすぐに結果の出ることにしか取り組みません。

私も小さな会社を17年やってきて思いますが、一時的に伸びていた会社が無くなったり、以前は繁盛していた葬儀社さんたちがだんだんと衰退してくる姿を見ってきました。

振り返ると確かにそんな保障のあることなんてないかな、と思いますし、すぐ結果の出ることのなかには不安定なものが多いのかもしれないと思いました。

そして、物事の善悪についていえば、「善は、積み重ねて初めて善になる。」一方、「悪は積み重ねなくても、一回で悪になる。」のだと言います。

そして、「10年も20年もそれを持続すると、初めて結果としてついてくる」のだそうです。

身の締まるお話で、且つ、気の遠くなるような話ですよ。

これからどんな時代になっていく

のかは、私には判りませんが、日々お店の周りを掃除して、お会いした方に笑顔で挨拶をして、お世話になった方にはお礼の言葉を、つらい思いをした方たちのことを思い出しては元氣の出るようなおハガキや、ときにはお花をお送りして。
そんなことを積み上げていくようなことで、至らない私たちにもときどき応援が頂けるようになって。
そんな人や会社を作っていけたら良いと思っています。

またこんなお話が聞ける機会があったときは、皆さんにもご案内させていただきますね。

年初から良いお話を聞くことができ、今年後厄となる私ですが、良い年にしていきたいと思っています。



2・3月の建設的な生き方を学ぶ会

講師：杉井やすゆき先生
2月17日(木)・3月8日(火) 18時半～
さいたま建設的な生き方を学ぶ会
(大宮、ウィル)

※ウィルの吉澤が主催しています

2月16日・3月9日(水) 19時～
横浜建設的な生き方を学ぶ会
(石川町、横浜地域職業訓練センター)

※横浜在住の素敵な奥様達が主催しています

～お申込みはお電話で～

0120-797-739